

えとクリニック通信

2018 秋 No.44

えとクリニック TEL 0176-25-2525



大腸がんは“芽”のうちに!!!

平成 28 年の青森県のがん死亡率は、平成 16 年以降 10 年以上に渡り全国最下位が続いています。(県ホームページより) 中でも、大腸がんに関しては

大腸がん：死亡率 14.6 (全国 47 位)

胃がん：死亡率 10.6 (全国 45 位) と高く、

平成 17 年の死亡率と比べた改善率をみても

胃がん：改善率 35.2 (全国 27 位) と改善ですが

大腸がん：改善率 -20.7 (全国 45 位) と悪化しているのが現状です。

これは、早期発見が少なく 癌が進行してから発見される事が多いためです。

大腸がんは助からない病気なのでしょうか？

実は、大腸がんは早期に発見し“芽”をつみとってしまう事が可能な病気です。

では どうしたら良いのでしょうか？

できるだけ癌が小さく、浅く、その部分に限られている時期に、大腸がんの予備軍で

ある「腺種」や「早期がん」の段階で発見し、その部分を切除してしまう事、つまり“芽”を出したらすぐにつみとってしまうことが大切なのです。

そのためには 全く症状のないうちに、 大腸内視鏡検査を受ける必要があります。

でも 検査は苦しいのでは？

当院での大腸内視鏡検査は

- ◎ 前日の検査食で腸の中をきれいにする準備をして頂きます。
 - ◎ 当日は朝から食べずに来院して頂き、腸の中をきれいにするためのお薬を1800ml飲んで頂きます。
 - ◎ 検査時間は、10～15分です。
腸の緊張をやわらげるお注射を使用して行っております。
 - ◎ 検査後休んで頂いたあと、その日に結果の説明を致します。
ポリープなど組織の一部を採取した場合は、2週間後に説明致します。
- という流れで行っております。心配な事がありましたら おたずね下さい。

まず 一度は検査を

「何ともないから、自分だけは大丈夫・・・。」「ちょっとこわくて・・・。」「どうしよう・・・。」
と思っている方、**『大腸がんは 初期には全く症状がないのです。**

症状が出てからでは進行してしまいます！！』 まず、一度受けてみて “芽” がでていないかどうかを確かめてみましょう。

そして ポリープのある方は 1～3年に一度

ポリープのなかった方も 2～3年に一度

検査を受けられる事を お勧めしています。

このように、症状がなくても定期的にチェックする事で 早期発見・早期治療が可能となり **大腸がんで亡くなるということを防ぐ事** ができます。

ですから、まだ一度も検査を受けた事がない方は
まず一度検査を受けてみましょう。

「心電図で何がわかるの？」



私たちの心臓は常にリズムカルに動いて、全身に血液を送り出しています。

このポンプの役割をし、人の一生を支える心臓もトラブルを起こすことがあるため、正常に機能しているか、働きやリズムを調べる検査です。

当院では安静時心電図検査を行っています。

両手、両足、胸部に付けた電極から発生した波形を記録します。
これにより、不整脈や狭心症・心筋梗塞・心肥大などがわかります。

糖尿病・高血圧・脂質異常症に、肥満・たばこ・ストレスなど動脈硬化のリスクが加わると心筋梗塞が発症しやすくなります。

動悸、息切れ、胸の痛みなど症状があった場合にはすみやかに診察をお受け下さい。

“私たちの心臓は休まず動いています。”

通院されている方には定期的に検査をお受け頂き、小さな変化を見逃さず、健やかな生活を送れますようお手伝いしてまいります。

中野渡 文子

受付からのお知らせ

インフルエンザ予防接種

今年のインフルエンザ予防接種開始は ワクチンが入荷しましたら
10月初め頃を予定しております。

接種希望の方は受付までお問い合わせ下さい。

1回接種 ・ ・ 65歳以下の方 3500円

十和田市在住 65歳以上の方 1300円

*保健センターより送付される問診票(青色)を ご用意下さい。

これからの時期は . . .

- ・夜更かしをせず、睡眠を充分にとりましょう。
- ・外出時はマスクをし、帰宅後は手洗い・うがいをしましょう。



*睡眠不足になると免疫力が低下し、感染症にかかりやすくなります。

多くの病原菌は、喉の粘膜や鼻の粘膜から感染します。

インフルエンザに限らず、風邪などの感染症に対して効果のある予防法は
「手洗い」「うがい」です。

ぜひ 手洗い・うがいをし、睡眠を充分にとりましょう。

砂渡 久美子